

札幌市立上篠路中学校

学校だより 第1号

【学校教育目標】

～明るい未来を拓く～

社会に自立する生徒の育成

【校訓】力強く心豊かに たゆみなく

学校HP <https://www16.sapporo-c.ed.jp/kamishinoro-j/>

～北斗きらめく～ 令和6年（2024年）4月19日 発行

# 上篠路

発行者：校長 林 英昭

## 令和6年度のスタートにあたって（1学期始業式校長の話より）

校長 林 英昭

いよいよ新年度の学校生活が始まります。ひとつずつ学年があがるうれしさ、新しい環境への期待、クラス替えの不安など、いろいろな思いでこの式に臨んでいることと思います。

みなさんは、私が先月の修了式の中で、『春休み中に是非「1年後になりたい自分」の姿を想像してみてください。それが皆さんの1年間の目標となります。』という話をしたのを覚えているでしょうか。そして、『じっくりと自分と向き合って、今の自分にふさわしい目標を立ててください。』とお願いをしました。春休み中に考えて、しっかり目標が定まったという人は、その目標に向かって、「力強く 心豊かに たゆみなく」理想の自分に近づく努力を継続してください。

まだ目標が決まっていないという人は、決してそのままにせず、じっくりと考えて、自分の今年度の目標を決めてください。しっかりと自分自身を見つめ、目標を考えることが、1年後の成長した自分の姿につながるはずです。

次に、これからの学校生活で意識してほしいことをお話します。

3年生の皆さんは、修学旅行はもちろんのこと、学校祭や合唱コンクールなど、あらゆる行事が中学校生活で最後の行事となります。ですから、何事に対しても悔いの残らないように取り組んでもらいたいと思います。そして、日常生活を含め、皆さんの先輩たちがそうであったように、後輩たちによりよいものを残してほしいと思います。上篠路中学校のよいところである「明るい挨拶」「思いやりの心」「心に響く合唱」「創意に満ちた生徒会」「きれいな学校」「挑戦する心」を学校の文化として、伝えていってほしいと思います。

2年生の皆さん、半年後の後期からは、生徒会活動も部活動も、2年生が学校のリーダー的な役割を3年生から引き継ぐこととなります。中堅学年として、3年生から学びつつ、後輩の1年生を支えながら、次のリーダーとしての自覚を高め、この1年に臨んでほしいと思います。また、中学校生活への慣れから緊張感を失わないよう、規則正しい生活と学習に取り組む姿勢が大切です。仲間を思いやる優しい気持ちを忘れず、毎日の積み重ねが1年後に大きな成果となるよう、一人一人がしっかりと学校生活を送ってください。

明日は80名の新1年生が入学します。先輩として、「後輩を思いやる優しい心」で接してください。いろいろな場面で、この上篠路中学校の良さを教えてください。1年生が安心できる言葉をかけてください。

全校生徒の皆さんが笑顔で充実した学校生活となるよう願っております。



## 新たに着任された教職員をご紹介します



9名の教職員が新たに着任しました。